



ナイス福岡 会報

くすのき

2022年4月
第 **321** 号



- 歩けばそこそこに小さな花、花！ ちょっと山手の小道を歩けば、

こんな花たちが、顔を見せてくれます。春は、まさに花々（華々）しい季節。 aiko.

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号
田村の自宅内 TEL：090-8220-6160
URL：<http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL：<http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会（127回）

日時：4月16日（土）10時から12時

の予定です。現在、公園の利用が可能です。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160【田村の携帯】

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

4月17日（日）5月15日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

4月24日（日）5月22日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

5月1日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

5月14日（土）
大濠公園（福岡市）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）

5月8日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

5月3日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

4月24日（日）
高良山（久留米市）
時 間：9:00～12:00
集 合：高良下宮社
問合せ：090-4357-3043（溝田）
参加費：会員 100円 一般 200円
高校生 100円
（中学生以下無料）

久留米の自然を守る会

5月21日（土）
明星山で樹木の名札付け
時 間：9:30～12:00
集 合：高良内幼稚園駐車場
問合せ：080-6425-1635（河内）

福岡植物友の会

4月17日（日）九大の森
お問い合わせください
問合せ：佃 昇（092-662-2983）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

5月7日（土）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:00
（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200円
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索
観察会や様々な生きものの情報を載せて
います



エゴノキ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会

4月23日（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4月23（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



ツチケリ 三国・松永

2022年3月

私のデジカメ日誌より
本のむし

今回は、3月1日(旧暦1月29日)～3月31日(旧暦2月29日)までの
デジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



3月2日(旧暦1月30日) 春日市春日公園
チョウの吸水行動について、体温調節のほかにオスに必要なナトリウムの補給があるそうで、吸水しているチョウのほとんどがオスであるらしい。このモンシロチョウもオスカ



3月7日(旧暦2月5日) 筑紫野市平等寺山神ダム
今年は寅年。年頭にトラツグミに逢いたいと念じたら、家内があっさり見つけた。立ち止まっては、足を小刻みに動かしてはさっと走り寄って啜えた。何だろう？



3月8日(旧暦2月6日) 筑紫野市天拝坂
庭のスズメを観ていたら、いきなり交尾した。一瞬の出来事であった。このあと、オスだろうか、口に何か咥えて盛んに相手を探す姿が観られたが、相手はいない・・・ 他人事ながら気になるなあ。数日後巣材運びがありー安心。



3月10日(旧暦2月8日) 太宰府市通古賀鷺田川
カワセミ2羽が、多田羅橋付近を盛んに鳴いて往来していたが、鷺田橋上流側右岸の法面擁壁工事中の土壁を、2羽で盛んに掘り出した。しかし、13時を過ぎ現場に工事関係者が戻ってきたら、2羽は姿を消した。右は半月後。護岸工事で彼らの営巣は絶たれた。



3月21日(旧暦2月19日) 筑紫野市天拝坂
庭のアセビが鈴なりに咲いた頃、メジロが1羽、日に数度来るようになった。丁寧に花の1個1個から蜜を吸っている。ヒヨドリも来たがアセビには興味を示さなかった。 花一輪の開口部はわずか2mm。花も相手を選ぶのだ。



3月27日(旧暦2月25日) 筑紫野市天拝坂
家にガが飛び込んだ・・と妻の声。姿が見えず、照明を消したり居場所探して大わらわ。体長35ミリのフクラスズメであった。下羽の藍が美しい。成虫で越冬していて家に飛び込んでしまったらしい。イラクサを探して飛んで行け。

3ページの続きです。栄養成分補給

吸水行動が体温調整と思われる一方、この行動で不思議なことがあります。、ほとんどの吸水している蝶たちがオスであることです。しかもその多くが羽化したばかりのオスばかりなのです。メスが吸水していることはまれで、このため吸水行動は蝶のオスが羽化した後に、オスの体に必要な成分を補給するために行う行動とも考えられています。

蝶は、動物の排泄物(おしっこ)などに吸水しに集まることが多いため、その主成分である**ナトリウムが蝶の必要としている成分とされています。**

オスが必要としているナトリウムは、蝶が活発に飛び回るために必要な栄養素、もしくは生殖のための栄養素とされています。つまり、メスを探して活発に飛び回るオスは、筋肉の運動に必要なナトリウムイオンを、この様な吸水によって補給するというものです。ウスキシロチョウのメスは吸水にくることが知られています。但し、吸水にくるのは、移動性の強い「ギンモン型」のウスキシロチョウで、定住性の「ムモン型」のウスキシロチョウのメスは、あまり吸水に来ません。この事実からしても、吸水行動で得られる「飛ぶ力」の源の一つはナトリウムなのではと考えられます。

会員からの投稿(1) 渋谷和美



十数年ぶりに会いました
春といえばこの子です
教科書通りという日時と場所に出ましたよ
ヤツガシラ 宗像市、3月20日

会員からの投稿(2) SDGs の 17 の目標 (その 14)

SDGs (持続可能な開発目標) の 17 の目標を少しずつ取り上げています。今月は「10. 人や国の不平等をなくそう (Reduced Inequalities)」です。この目標には、極度の貧困 (1日 1.25 ドル未満での生活) を終わらせることや、基礎的サービスへのアクセスを行き渡らせることなどが含まれています。ここで言う「基礎的サービス」とは、学校や病院に行ける、水道や燃料などのインフラ、買い物ができる、土地所有などの財産権、金融サービスを利用できる、といった安心して暮らしていくために必要なあれこれのことです。



明記されてはいませんが、私はこの基礎的サービスの中に「自然体験」も含まれると思っています。大自然でなくても、歩いて行ける範囲に公園や緑地があると、休みの日に遊びに行ける山や海や川があると。

ですがなんとなく、相応の料金を払わないと利用できない公園や、車を持ってないと行けない体験施設が増えてるような感じがしないでもない…。それらが悪いわけではありませんが、限られた人しか自然にアクセスできなくなるのはマズい。自然体験という基礎的サービスに誰もが平等にアクセスできる世の中がいいですね。身近な公園や緑地を大事にしていきたいと思います。(写真:「まちなか里山事業」で造園業の皆さんと緑地の手入れをしました) 志賀壮史

会員からの投稿(3) 窓越しの自然観察 47 ～ 一期一会 21 ～

今年は、雨も雪も少なく、乾燥した日々が続いたせいでしょうか、花木の様子がいつもと違い、いつまでも枯れ木状態。ヒガンザクラも到底彼岸までに花を見せるとは見えない裸木だったのですが、急な気温上昇が数日あった後、糸ほどの小枝が急にボリュウムを増したかとおもうと花蕾も見せず突然開花をはじめ、驚くと言うよりは呆気にとられ、僅か2日で小枝先々まで満開になる様子を目前に見る貴重な経験をしました。彼岸の入り18日には満開、鳥達も次々と姿を見せるようになりました。



た。メジロ、ヒヨドリ、シロハラ、エナガ、アトリ、etc.。珍しく、ジョウビタキが水浴びに来てくれたり、突然賑やかな日々となっています。

(ダムサイト住人 2022.3.31 記)

春日公園自然観察会 令和4年03月16日(土)【参加者数】4人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。

観察内容 小雨の中、春の花等を観察。

植物 ヒイラギナンテン(花)、ハナイバナとキュウリグサ、ヤマモモ(雄花と雌花)、サンシュユ(蕾)、ノシラン(実)、アセビ(花)、シダレヤナギ(新芽と花)、サンゴジュ(新芽)、クスノキの落葉

野鳥 アオサギ、カワウ、メジロ、キジバト、スズメ、ウグイス(囀り)、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ツグミ、シロハラ、ジョウビタキ、アトリ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、アヒル

感想(参加者の声)

- ・ヤマモモの雄花と雌花の観察ができた。
- ・キュウリグサとハナイバナの花を同時に比較できた。
- ・ヤエムグラにいたアブラムシの仲間を、実態顕微鏡で観察できた。
- ・カエデの花を観察できた。
- ・満開のサンシュユの花に出会えた。
- ・シダレヤナギ、淡い黄緑色の風景にその美しさが見えた。

観察会風景

この日、もっとも花が多かった木

ヤマモモ雄花と雌花



ハナイバナの花 キュウリグサの花

サンシュユ 満開の一輪

咲き始めたノジスミレかな



素晴らしく明るい色合いを見せてくれたシダレヤナギの新芽と花



そろそろ旅立ち、シロハラみ



そろそろ旅立ち、アトリ



第24期 和白干潟の自然観察ガイド講習会

和白干潟の海底湧水を調べよう！

★和白干潟の自然観察ガイドを育成するための講習会です。自然を体験して学習します。参加をお待ちしています。(初心者歓迎)

とき: 2022年5月1日(日) 13:00~17:00

受付: 12:30 大潮 干潮 16:03 満潮 9:54

集合: 和白干潟を守る会事務所(和白 1-14-37、海のきりえ館1階)

講師: 新井 幸吾 氏: 海藻研究所 所長

- ・ 持ち物: 筆記具、500ccのペットボトル(海底湧水を入れて持ち帰ります)、飲み物
- ・ 服装: 長袖、長ズボン、帽子、長靴

★募集: 15名。講習は室内とフィールドの両方あります。

★参加費: 300円

★主催: 和白干潟を守る会: 福岡市東区和白 1-14-37 TEL/FAX: 092-606-0012

申し込み・お問い合わせ: TEL: 090-8412-2663 山之内



和白海岸のハマサジとハマニンニク

撮影: 3/13 田字草



3/13 のミヤコドリの群れの一部



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2021年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費: 2000円 郵便振替口座: 福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、令和4年5月13日(金)午後2時より事務局で行います。令和4年5月号の原稿は、5/10(火)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

定例総会について

コロナ禍で陽性者数、なかなかしっかりした減少傾向になりません。今年度も会報上で進めたいと考えています。いかがでしょうか。

◆◆◆編集後記◆◆◆

編集後記 2022年3月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

色の鮮やかさに思わずレンズを向けました。食べたもので、消化しなかったものを、胃の中で丸めて口から吐き出したペレットだと思います。吐き出した主は、このペレットの大きさからハシブトガラスでしょうか。食べられる前は赤い種でしょうか。この周辺で見かけた赤い実、あるいはそれに近い色はクロガネモチ、マンリョウ、センリョウ、モチノキ、マサキ、ツルウメモドキなどでしょうか。この種の名前を知るには、持ち帰って、植えてみて、育ってから知ることが、最良の方法のようでしょうか。



撮影: 2022. 3/28 西区能古島にて